

交通指導取締り指針

延岡警察署の速度取締り重点

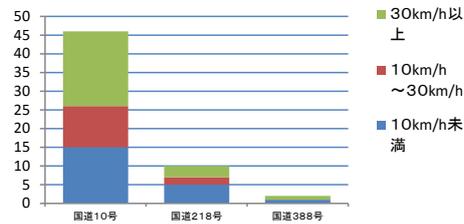
重点路線	重点時間帯	区域	規制速度
国道10号	10:00~17:00	延岡市大峡町、別府町	50km/h、60km/h
県道(土々呂日向線)	7:00~17:00	延岡市土々呂町	30km/h
市道	7:00~17:00	延岡市南一ヶ岡	40km/h
市道	7:00~17:00	延岡市上伊形町	40km/h

その他の交通指導取締り重点

- 中心市街地や繁華街を中心とした飲酒運転取締りを強化
- 交差点やモデル横断歩道等における3STOP作戦の強化
- 自転車指導啓発重点路線での取締り強化

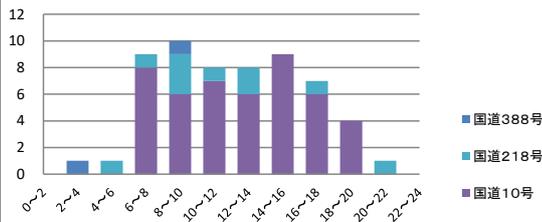
延岡警察署管内における交通事故実態

主な路線別・危険認知速度別人身事故発生状況(7月~12月)



- 分析の結果、国道10号での発生(46件)が最も多く、次いで、国道218号が(10件)、国道388号が(2件)であった。
- 速度超過別では、30km/h以上が全体の41.3%(24件)を占め、次いで、10km/h未満が36.2%(21件)であった。

延岡署管内における時間帯別人身事故の発生状況(7月~12月)

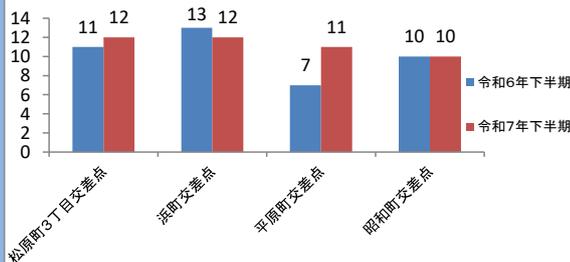


- 時間帯別で見ると、人身事故が発生した時間帯で最も多いのは、午前8時から午前10時の間に発生した10件で、次いで、午前6時から8時まで、午後2時から午後4時までの間に発生した9件であった。
- 国道10号は昼間帯の発生が多い傾向にあるが、深夜帯から日の出前にかけては国道388号と国道218号で発生している。

~令和7年7月から12月の主な交通事故の発生状況~

下半期に発生した人身事故の事故類型は、追突と出合頭が多発している傾向にあり、その原因として、追突は前方不注意と動静不注意が多く、出合頭は交差点内における安全不確認など安全進行の不徹底が多かった。

管内の交通事故多発地点の事故発生状況



- 事故多発地点での交通人身事故は、松原町3丁目交差点で12件(前年比+1件)、浜町交差点で12件(前年比-1件)、平原町交差点で11件(前年比+4件)、昭和町交差点で10件(前年比±0)であり、どの交差点も発生件数はほぼ横ばいであった。

その他の交通指導取締り要点及び取締り要望

- 旧車會による集団走行抑止と改造二輪車への整備命令及び取締り強化